

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(4)安全・安心な消費生活の実現		

事務事業名	法律の専門家による相談事業	担当課	地域コミュニティ課
事務事業概要	消費者トラブルを抱える人吉球磨の住民に対し、弁護士・司法書士・臨床心理士等が適切な指導助言を行い、問題の解決に導く事業		
主な取組内容 Plan	既存	月2回の弁護士による無料法律相談会(人吉市民のみ対象)	既存
			月1回の法律等の専門家による無料相談会(人吉球磨地域住民)

		事務事業実績			
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	495	千円	495	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	495	千円	495	千円	
事業費	990	千円	990	千円	

		評価			
		事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)	法律の専門家による人吉球磨地域住民を対象とした無料法律相談会を実施。金銭トラブルや家庭問題など多様な相談に対応しており、専門家の適切な指導・助言により地域住民の問題解決の一助となっている。			
	(今後の課題)	相談会の対応可能人数上限310人に対して、令和6年度実績は181人で58.4%の稼働率となっている。今後も、身近に法律相談ができる場所として周知を図る必要がある。			
改善内容 Action	経費の有効活用の観点からも、人吉球磨地域住民へさらなる周知を図り、稼働率の向上に努めたい。	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

		改善						方向性	
		実施計			画				
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額			
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
県補助金	425	千円	0	千円	0	千円			
起債	0	千円	0	千円	0	千円			
その他	0	千円	0	千円	0	千円			
一般財源	425	千円	990	千円	990	千円			
事業費	850	千円	990	千円	990	千円			

総合戦略	該当なし
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(4)安全・安心な消費生活の実現		

事務事業名	消費者教育推進事業	担当課	地域コミュニティ課
事務事業概要	人吉市消費者教育推進計画に基づき、学校・地域・ライフステージに応じた消費者教育を推進する事業		
主な取組内容 Plan	既存	消費者教育推進計画の策定	既存
	既存	消費者教育推進協議会の設置・運営	既存
			消費者教育の実践
			関係機関(教育委員会等)との協議

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	0	千円	0	千円	
事業費	0	千円	0	千円	

評価

事務事業評価					
成果・課題 Check	(取組成果)				
	第2次人吉市消費者教育推進計画に基づき、令和6年度からの3年間の計画期間において、「安全・安心で豊かな消費者社会の実現」を基本方針として、ライフステージに応じた体系的な消費者教育の推進や、効果的な消費者教育のための取り組みの推進、高度情報通信ネットワーク社会の発展に対応した消費者教育の推進、被災者に寄り添った消費者教育の推進に取り組んでいく。消費者教育の一環として取り組んでいる出前講座の実績は、令和4年度が25回(744人)、令和5年度が34回(683人)と、令和6年度が37回(698人)と横ばいで推移している。消費生活センターの認知度については令和4年度市民意識調査で38.4%であったが、それ以降は不明の状況である。				
改善内容 Action	(今後の課題)				
	第2次消費者教育推進計画における成果指標は、消費生活センターの認知度、出前講座受講市民割合、小中高校での授業支援件数、関係者の研修会参加回数、被災者トラブル特化の出前講座開催回数の5項目である。これらの実践には、消費生活相談員をはじめとしたスタッフの安定確保が必要不可欠である。				
改善内容 Action	人吉球磨地域における有資格者の把握や正職員の資格取得を推進し、人材の確保に努めるとともに、各種研修会等の参加により能力向上を図る。	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

改善

方向性

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	
事業費	0	千円	0	千円	0	千円	

総合戦略	該当なし
市長マニフェスト	該当なし

5

環境保全・自然との共生



施策の方向

目指す環境像を実現するために、自然環境、生活環境、快適環境、地球環境、環境教育の5つの分野において、関係機関との連携を取りながら施策を推進します。

また、市が実施する温室効果ガス排出の抑制等の取組を着実に実行することで、環境負荷の低減を図ります。さらに、市民や事業者の環境に関する知識の習得や活用を支援することで、環境問題に関する意識の向上を図ります。このように、市民、事業者との協働を進めることにより、市全体で力を合わせ、環境の保全と創造に取り組みます。

市民が誇りに思う美しいまちや河川の美化に、様々な主体が取り組む「みんなで美しい人吉づくり」プロジェクトや、人吉の環境を理解し、身近に感じるための様々な方法や情報を収集し、市民各世代が環境活動(エコ活動)を行いやすい状況をつくる「環境を身近に」プロジェクトを重点的に推進します。

成果指標 (KPI)

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値
温室効果ガス排出量 (市公共施設)	3, 521 t	△	2, 521 t (令和8年度)
公共施設における新エネルギーの導入件数	12件	△	18件 (令和9年度)
美化活動実施団体の数	116団体	○	140団体 (令和9年度)

主要な事務事業

- (1)環境政策推進事業(環境基本計画の推進)
- (2)みんなで人吉の環境地域づくり推進事業

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(5)環境保全・自然との共生		

事務事業名	環境政策推進事業(環境基本計画の推進)	担当課	環境課
事務事業概要	人吉市環境基本計画の進行管理を行い、重点プロジェクトやその他の環境施策への取組を推進する事業		
主な取組内容 Plan	既存	環境審議会	既存 人吉市地球温暖化対策実行計画推進本会議
	既存	環境MS調査	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	93	千円	100	千円	
事業費	93	千円	100	千円	

評価

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	・再エネ・新エネなど環境関係企業とのマッチングイベントに参加し、様々な提案を受けた。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	・再エネ・新エネの導入には多額の経費を必要であるため、実施に至るまでのハードルが高い。		
	事業の方向性	資源配分	
	現状維持	財源	現状維持
		人員	現状維持

改善

方向性

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	430	千円	100	千円	100	千円	
事業費	430	千円	100	千円	100	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	人吉市環境基本計画の推進による環境に配慮した循環型社会の構築を目指します

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(5)環境保全・自然との共生		

事務事業名	みんなで人吉の環境地域づくり推進事業	担当課	環境課
事務事業概要	小学生対象の「身近な川の水生物調査」を実施し、地元人材を活用した次世代の育成および環境地域づくりを推進する事業		
主な取組内容 Plan	既存	「みんなで美しい人吉づくり」プロジェクト	既存
	新規	グリーンカーテン普及啓発事業	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	211	千円	211	千円
	事業費	211	千円	211	千円

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果) ・市民の地球温暖化防止への関心を高めるため、人吉市環境基本計画の「環境を身近に」プロジェクトの中の「エコな人吉暮らし推進運動」にかかる事業の一環として、グリーンカーテンの普及啓発に関する事業を実施した。 ・市内小学生(5年生)を対象に校区内の河川において、水生物の生息状況などから水環境調査を行い、人吉市の身近な川の概況を把握する。自らの暮らす地域に目を向け、理解し、環境地域づくりの主体として行動できる次世代の育成を図った。		
	(今後の課題) ・グリーンカーテンの普及事業については、一過性のものとせず、事業終了後も、個人でいかに継続させるかが課題である。 ・身近な川の水生物調査は講師の確保や場所の選定が課題である。		
改善内容 Action	・グリーンカーテン普及事業実施者が取り組みを継続していくことはもちろん、自らが率先してPRに務めてもらうよう、実施者との連携を図る。 ・身近な川の水生物調査は、環境課だけではなく、教育委員会や国・県との連携を強化し取り組む必要がある。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	214	千円	214	千円	214	千円
	事業費	214	千円	214	千円	214	千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	人吉市環境基本計画の推進による環境に配慮した循環型社会の構築を目指します

6

資源循環型社会の形成



施策の方向

分別・排出ルール徹底や、生ごみ処理機等導入補助金の利用促進に向けて、ホームページ等での周知や衛生員連合会との連携による普及啓発の強化、ごみ処理手数料の見直し等により3Rを推進します。

これらの取組により、ごみの減量化・資源化につなげ、ごみ処理経費の削減、処理施設への負担軽減や施設の延命化を図るとともに、資源循環型社会の形成を目指します。

成果指標 (KPI)

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
1人1日当たりのごみ排出量	975グラム	△	921グラム
リサイクル率	18.6%	○	24.0%
生ごみ処理機等導入補助	28件	○	40件

主要な事務事業

- (1)塵芥(ごみ)処理事業
- (2)ごみ減量リサイクル事業

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(6)資源循環型社会の形成		

事務事業名	塵芥(ごみ)処理事業	担当課	環境課
事務事業概要	ごみ処理計画の策定、ごみ収集、処分場の維持管理費負担に関する事業		
主な取組内容 Plan	既存	一般廃棄物処理実施計画の策定	既存
	既存	一般廃棄物収集及び運搬業務委託によるごみ収集	人吉球磨広域行政組合への負担金支払い

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	635,501	千円	713,017	千円	
事業費	635,501	千円	713,017	千円	

事務事業評価					
成果・課題 Check	(取組成果)				
	民間への業務委託により、一般廃棄物の収集及び運搬業務について、適切に処理された。また、委託業者との連携により、プラスチック類分別収集モデル事業で確認された問題等を共有し、今後の全域実施に向けた対応策を含め、ごみ減量や収集作業の効率化に向けた協議・検討を行った。				
改善内容 Action	(今後の課題)				
	燃えるごとしていたプラスチック類を、資源ごみとして分別することで、ごみ減量や資源循環の促進に繋がるが、収集及び運搬業務量の増加に伴い、委託料も増額になる。				
改善内容 Action	<ul style="list-style-type: none"> ・分別ルール及び排出抑制に関する周知強化 ・分別品目の追加に合わせ、収集作業の一部軽減も含めた作業効率化の検討 	事業の方向性	資源配分		
		拡大	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	736,460	千円	736,000	千円	735,230	千円	
事業費	736,460	千円	736,000	千円	735,230	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	人吉市環境基本計画の推進による環境に配慮した循環型社会の構築を目指します

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(6)資源循環型社会の形成		

事務事業名	ごみ減量リサイクル事業	担当課	環境課
事務事業概要	分別・リサイクル、生ごみ自家処理の推進など、ごみの減量化・再資源化を推進する事業		
主な取組内容 Plan	既存	ごみの減量化・再資源化を推進する事業	既存
	既存	人吉市環境衛生等事業交付金	生ごみ処理容器・処理機設置事業補助金

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	47,771	千円	54,737	千円	
事業費	47,771	千円	54,737	千円	

評価

事務事業評価				
成果・課題 Check	(取組成果)			
	<ul style="list-style-type: none"> プラスチック類分別収集モデル事業の取組により、プラスチック類の再資源化の推進を図った。また、併せて生ごみ処理機等購入補助の活用を促したことで、生ごみの減量化についても推進を図った。 サントリー(株)との「BtoB」水平リサイクルに関する協定を締結したことで、ペットボトルリサイクルの推進を図った。 指定ごみ袋の販売等委託により、指定ごみ袋制度を円滑に実施し、ごみ減量及びごみの適正処理の推進を図った。 			
改善内容 Action	(今後の課題)			
	<ul style="list-style-type: none"> プラスチック類分別収集を全域実施に繋げるためには、モデル事業で確認された課題に対し、関係機関と連携した体制を整備しておく必要がある。 プラスチック類が資源ごみの品目に追加されることで、特に高齢者や外国人など、これまでの分別ルールも含めた分かりやすい普及啓発が必要になる。 			
改善内容 Action	<ul style="list-style-type: none"> プラスチック類分別収集の全域実施に向けた住民説明会や、広報誌・SNS等を活用した様々な形での普及啓発 ごみ処理手数料の改定及び、指定資源ごみ袋の廃止検討 生ごみ処理機等導入補助金の、プラスチック類分別と併せた周知の強化 衛生員連合会と連携したごみ減量化・再資源化への取組み 	事業の方向性	資源配分	
		拡大	財源	現状維持
			人員	現状維持

改善

方向性

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	54,617	千円	53,295	千円	52,017	千円	
事業費	54,617	千円	53,295	千円	52,017	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	人吉市環境基本計画の推進による環境に配慮した循環型社会の構築を目指します

7

上水道の維持・整備



施策の方向

上水道は、「自然災害に対応する強靱な水道」「時代環境の変化に対応する持続可能な水道」「安全安心で安定的に供給する水道」等の目標のため、施設の老朽化対策や耐震化を図ることにより、漏水防止に努め有収率の向上を目指すとともに、経営の安定および効率化、管理体制の機能強化に努めます。

また、被災市街地復興推進地域のうち、青井被災市街地と紺屋町被災市街地で実施される土地区画整理事業による都市基盤施設の整備の一環として、事業計画のスケジュールに歩調を合わせた形で配水管の布設替えを行うとともに、管路の耐震化も促進し、持続可能な地域づくりを目指す必要があります。

成果指標（KPI）

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
原城配水池の更新	2次造成工事及び 場内配管工事	○	本体完成・供用開始 (令和7年度予定)
管路の耐震化適合率(※2)	24.07%	△	25.2%(※2)
有収率※(※3)	85.59%	△	86.6%(※3)

(※①) 耐震管延長÷管路全体延長 69,470m ÷ 289,974m

(※②) 耐震管延長÷管路全体延長 73,000m ÷ 289,974m

(※③) 85.57%+年間約0.2%×5年間=86.57%

主要な事務事業

- (1) 上水道施設(水源地、配水池等)整備更新事業
- (2) 上水道送配水管耐震化事業
- (3) 上水道老朽管路更新事業
- (4) 人吉市上下水道料金徴収事務等業務委託事業

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(7)上水道の維持・整備		

事務事業名	上水道施設(水源地、配水池等)整備更新事業	担当課	上水道課
事務事業概要	老朽化した水源地および配水池の施設を整備する事業		
主な取組内容 Plan	既存	原城配水池の更新	
	新規	茂ヶ野水源地耐震化事業	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	78,144	千円	120,000	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	0	千円	70,000	千円	
事業費	78,144	千円	190,000	千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	<p>年次計画どおりに事業進捗しており、令和6年度については不測の事態により繰り越しましたが、令和7年度事業については第1四半期に発注できている。</p> <p>水源地：茂ヶ野水源地、古仏頂水源地、井ノ口第1・2水源地 配水池：原城配水池、赤池配水池、大畑配水池、蓬萊配水池、井ノ口配水池、上原田配水池 令和7年度事業箇所：原城配水池、大畑ポンプ所、大畑配水池</p>		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	<p>物価や人件費の高騰が続いており、事業費の増大が懸念される。ほかにも多くの施設があるため、経過年数・重要度・耐震性等を勘案して、事業を進めなければならない。今後、料金収入の減少が見込まれるため、事業費の捻出が厳しい状況になる。</p> <p>令和8年度事業箇所(予定)：原城配水池、大畑ポンプ室、井ノ口配水池 令和9年度事業箇所(予定)：原城配水池 令和10年度事業箇所(予定)：茂ヶ野水源地</p>		
	施設・設備の縮小も視野に入れて検討する。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 削減 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	567,000	千円	70,000	千円	5,000	千円	
事業費	567,000	千円	70,000	千円	5,000	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし